

第43回 燃料デブリ取り出し専門委員会 議事要旨

日 時：令和5年5月31日（水） 13：10～15：00

場 所：原子力損害賠償・廃炉等支援機構 Web 会議システム

1. 東電エンジニアリング状況について

東京電力から1号機 PCV 内部調査結果について説明した。

専門委員からの主な意見は以下のとおり。

- 今回の1号機内部調査は終了したが、まだ、調査できていないところが残っているため、何を知らたいかと言うニーズの観点も含め、今後の内部調査を検討・推進していくことが重要である。
- ペDESTALの安全対策は物理的な対策も含め、燃料デブリ取り出し工法とも関連させて現実的かつ最適な方法を検討することが重要である。
- ペDESTALの耐震評価について、ペDESTALの温度条件をより高温に設定した場合についても、検証することが望ましい。
- 原子炉格納容器内の調査結果について、各号機の違いが分かり易いように整理することが望ましい。

2. 戦略プラン 2023 要旨について

NDF から戦略プラン 2023 要旨のうち、3.1 章 燃料デブリ取り出しについて説明した。

専門委員からの主な意見は以下のとおり。

- リスクを下げるために燃料デブリを取り出すと言う本来の目的に立ち帰り、リスクの高いところから着手することも含め、廃炉作業を戦略的に進めるための方策について記載することが重要である。
- 号機ごとに原子炉格納容器内の状況が異なることから、その点も考慮して燃料デブリの取り出し工法を検討し、それぞれについて丁寧に記載することが重要である。
- 廃棄物や分析に係るパートとの連携が取れた記載とすることが重要である。

以上